

2024 年度 履修ガイド

目次

1. 2021 年度からの変更点について	再掲	3
1.1. 地域文化研究関連科目の取り扱いについて（2019～2022 年度入学者対象）		3
1.2. 言語アプリケーション科目における大学院生の履修について		4
1.3. オンライン授業の履修上限単位数について		4
2. 2020 年度からの変更点について	再掲	4
2.1. 履修取消期間の廃止		4
2.2. 英語 7・8（再履修）のスコア認定申請時期の変更		5
2.3. 大学院設置科目の履修方法の変更について		5
3. 履修登録にあたり		5
3.1. 年間履修計画の重要性		5
3.2. 授業に関する情報		5
3.3. 関連情報		6
A. 国際文化学部履修の手引き		6
B. 国際文化学部時間割（シラバスより確認）		6
C. 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（履修・手続き関係）		6
D. SSI 履修の手引き（スポーツ・サイエンス・インスティテュートのみ参照）		6
E. ネットワーク基礎の抽選（春学期）		6
F. 情報システム概論の抽選（秋学期）		6
G. メディア情報基礎の抽選（秋学期）		6
H. ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修		6
I. 情報リテラシー I・II の再履修（春学期）		6
J. 大学院設置科目		6
K. 諸外国語先取り履修		6
L. 言語コミュニケーション科目の再履修及び教員免許取得のための履修		6
M. ゼロ単位申請		6
4. 履修登録		6
4.1. 履修登録方法（Web 履修登録と自動登録の違い）		6
4.2. 各科目の履修について		6
4.2.1. 春学期科目		7
4.2.1.1. 【春学期科目】事前手続き不要の自動登録科目（1 年生）		7

4.2.1.2. [春学期科目] 事前手続き不要の自動登録科目 (2 年生)	7
4.2.1.3. [春学期科目] 事前手続きが必要な科目	8
4.2.2. 秋学期科目	9
4.2.2.1. [秋学期科目] 事前手続き不要の自動登録科目 (1 年生)	9
4.2.2.2. [秋学期科目] 事前手続き不要の自動登録科目 (2 年生)	10
補足 1 (SA の単位について)	11
補足 2 (SJ について)	11
4.2.2.3. [秋学期科目] 事前手続き不要の自動登録科目 (3 年生)	12
4.2.2.4. [秋学期科目] 事前手続きが必要な科目	12
4.2.3. オータムセッション科目	13
4.2.3.1. [オートムセッション科目] 事前手続きが必要な科目	13
5. 履修登録における特殊ケース (抽選・再履修等)	14
5.1. 春学期科目	14
5.1.1. [春学期科目] 4 群 (外国語) の再履修	14
5.1.1.1. 注意事項	14
5.1.1.2. 再履修パターン	14
[春] 申請手続き 1 (英語 1～4 をクラス授業で再履修するケース)	14
[春] 申請手続き 2 (英語 5～8 をクラス授業で再履修するケース)	15
[春] 申請手続き 3 (諸語 1～8 をクラス授業で再履修するケース)	15
[春] 申請手続き 4 (外部英語能力試験のスコアによって未修得単位を修得するケース)	15
[春] 申請手続き 5 (日本語をクラス授業で再履修するケース)	18
5.1.2. [春学期科目] 情報リテ、スポーツ総合演習、国際文化情報学入門の再履修・言語コミュ履修希望	18
5.2. 秋学期科目	18
5.2.1. [秋学期科目] 4 群 (外国語) の再履修	18
5.2.1.1. 注意事項	18
5.2.1.2. 再履修パターン	19
[秋] 申請手続き 1 (英語 3・4 をクラス授業で再履修するケース)	19
[秋] 申請手続き 2 (英語 6 をクラス授業で再履修するケース)	19
[秋] 申請手続き 3 (諸語 3・4・6 をクラス授業で再履修するケース)	19
[秋] 申請手続き 4 (日本語をクラス授業で再履修するケース)	19
5.2.2. [秋学期科目] スポーツ総合演習の再履修・言語コミュ履修希望	20
5.3. 年間科目	21
5.3.1. [年間科目] 外国語技能試験・検定試験による単位認定	21
5.3.1.1. 2022 年度以前入学者の SA 一部中止・不参加に伴う代替措置	21
6. 過去多かった問い合わせ	21
7. 最後に	23

1. 2021 年度からの変更点について 再掲

1.1. 地域文化研究関連科目の取り扱いについて（2019～2022 年度入学者対象）

2022 年度以降、SA 参加対象者（2019 年度以降入学者）が SA 不参加（以下「SA 参加免除」）となる際の地域文化研究関連科目の取り扱いを、大学の中止判断または学生の不参加選択等の理由に関わらず、SA 参加者と同じ要件に統一します。これに伴い、「履修の手引き」の内容が下表のとおり修正されていますのでご確認ください。

変更前	※ 7 地域文化研究関連科目から以下のとおり 4 科目 8 単位以上修得する。 ＜SA 参加者（※8）＞ ・SA 先と関連する区分から 2 科目 4 単位以上修得 <u>※8 以下に該当する者を含む</u> <u>・大学の SA 中止判断による SA 不参加者</u> <u>＜上記に該当しない SA 不参加者（SSI コースを除く）および SJ 参加者（※9）＞</u> ・いずれかの区分から 2 科目 4 単位以上修得 ・SJ 参加者は「世界の中の日本文化」区分から「世界とつながる地域の歴史と文化」を必ず単位修得 ※9 外国人留学生入試、海外高校指定校推薦入試、日本語学校指定校推薦入試、 済州特別自治道教育庁からの推薦入試で入学した留学生
変更後	※ 7 地域文化研究関連科目から以下のとおり 4 科目 8 単位以上修得する <u>（SSI コースは除く）</u>。 ＜SA 参加者（※8）＞ ・SA 先と関連する区分から 2 科目 4 単位以上修得 <u>※8 大学の SA 中止判断および SA 参加免除による SA 不参加者を含む</u> <u>＜SJ 参加対象者（※9）＞</u> ・いずれかの区分から 2 科目 4 単位以上修得 ・「世界の中の日本文化」区分から「世界とつながる地域の歴史と文化」を必ず単位修得 ※9 外国人留学生入試、海外高校指定校推薦入試、日本語学校指定校推薦入試、 済州特別自治道教育庁からの推薦入試で入学した留学生 <u>（大学の SJ 中止判断等による SJ 不参加者も含む）</u>

1.2. 言語アプリケーション科目における大学院生の履修について

2022 年度から、一部の言語アプリケーション科目を国際文化研究科（大学院）の学生が受講可能になります。本科目は定員制であり、定員管理のため受講希望者は初回授業への参加が当初から義務付けられていますが、受講対象の増加に伴い、改めて初回授業への参加を徹底ください（原則として学部生の履修が優先されますが、初回授業への参加を逃すと受講に不利益が生じる可能性があります）。

1.3. オンライン授業の履修上限単位数について

2022 年度以降、新型コロナウイルスによる文部科学省の特別措置が終了し、オンライン授業については、卒業所要単位として 60 単位を超えて履修することができなくなります。履修登録科目確認通知書および成績通知書でオンライン授業の履修・修得単位数を確認し、計画的に履修をするようにしてください。なお、授業期間において感染状況が深刻化し、対面授業をオンライン授業に切り替えなければならない場合には、当該授業を対面授業の扱いとして運用することとなっています。

2. 2020 年度からの変更点について 再掲

2.1. 履修取消期間の廃止

2021 年度から、履修取消期間を廃止し、同期間に履修変更期間を設けます。これまで、履修取消期間は、履修登録期間に登録した内容から、取消のみ認める期間でしたが、2021 年度からは、追加の履修登録、および、削除も可能になります。履修登録誤りを減らすため、基本、履修登録期間中に Web 履修登録を済ませ、履修変更期間は誤りを修正する期間としてご活用ください。なお、秋学期は履修変更期間のみとなります。

セメスター	概要	日程	位置づけ
春学期	履修登録期間	4 月 15 日 ～4 月 19 日	当該 <u>年度</u> に履修する授業を全て登録する。
	履修変更期間	5 月 7 日 ～5 月 8 日	履修登録期間に登録した内容から変更が生じた場合、当該期間にて変更を行う。 <u>当該期間を超えての春学期科目（セッション科目含む）の履修変更は認められない</u> （秋学期の履修変更期間に、秋学期科目（オースタムセッション科目を除く）の登録・変更は可能）。
秋学期	履修変更期間	9 月 27 日 ～9 月 30 日	履修登録期間に登録した内容から変更が生じた場合、当該期間にて変更を行う。 <u>当該期間を超えての秋学期科目（セッション科目含む）の履修変更は認められない</u>

2.2. 英語 7・8（再履修）のスコア認定申請時期の変更

英語 7・8 のスコア認定は、秋学期に申請を受け付けていましたが、2021 年度から、春学期の申請受付となります。再履修の計画を立てる際、ご注意ください。

2.3. 大学院設置科目の履修方法の変更について

大学院設置科目は、Google フォームを用いた事前の申請手続きを行っていましたが、2021 年度より、Google フォームにて行っていた事前の申請手続きを不要とし、履修希望者が直接担当教員に受講許可を得る方式に変更します。学習支援システム等を通じ、初回授業までに科目担当教員に連絡をしてください。受講許可を取得後、履修登録をしてください。

3. 履修登録にあたり

大学では、履修登録が、単位修得の前提です。履修登録に不備があると、受講していた科目の単位修得はできません。また、履修登録を行っていても、選抜等、所定の手続きを行っていない場合は、不合格となります。進級・卒業に影響を及ぼす可能性があるため、各自、資料を熟読の上、確実に手続きを行ってください。手続きにあたり不明点がある場合、履修登録期間終了日の前日までに必ず学部事務所に問い合わせてください（再履修科目や抽選科目等の申請を要する科目は、各申請期限までに必ずお問い合わせください）。

3.1. 年間履修計画の重要性

履修計画の妥当性を図るため、春学期に一年間分の履修登録を情報システムから行ってください。なお、履修の自由度を担保するため、春学期に履修登録した秋学期科目を、秋学期の履修登録期間に総入れ替えすることも可能です。また、派遣留学や休学等により、春学期に授業を履修せず、秋学期のみ履修される場合は、秋学期に履修登録してください。

＜2024 年度 SA 参加者へ＞

2024 年度 SA 参加者は、秋学期科目の履修登録を行わないでください。SA に参加する年度の秋セメスター分は、SA 終了後に認定科目分を大学が登録しますので履修登録しないでください。

3.2. 授業に関する情報

授業に関する情報（休講情報や教室等の時間割変更含む）は、学習支援システムからご案内します。授業開始までに、学習支援システムへ履修する可能性のある全授業の仮登録が必須です。

3.3. 関連情報

本書に加えて以下の資料もあわせてご確認ください。

- A. [国際文化学部履修の手引き](#)
- B. [国際文化学部時間割](#)（シラバスより確認）
- C. [市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ](#)（履修・手続き関係）
- D. [SSI 履修の手引き（スポーツ・サイエンス・インスティテュートのみ参照）](#)
- E. [ネットワーク基礎の抽選（春学期）](#)
- F. [情報システム概論の抽選（秋学期）](#)
- G. [メディア情報基礎の抽選（秋学期）](#)
- H. [ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)
- I. [情報リテラシー I・II の再履修（春学期）](#)
- J. [大学院設置科目](#)
- K. [諸外国語先取り履修](#)
- L. [言語コミュニケーション科目の再履修及び教員免許取得のための履修](#)
- M. [ゼロ単位申請](#)

4. 履修登録

4.1. 履修登録方法（Web 履修登録と自動登録の違い）

Web 履修登録	情報システムより、ご自身で履修登録をしていただくことです。受講許可が必要な科目は、受講許可を得たうえで履修登録を行ってください。受講許可の必要性は、シラバス・大学からのお知らせ・初回授業等で確認してください。
自動登録	学部事務にて履修登録を行うことを指します。クラス指定、抽選などで予め受講が決定している科目は、自動登録されます（対象科目は後述）。

〔補足〕 情報システムについて

- PC 版 : <https://www.as.hosei.ac.jp/kyomu/index.jsp>
スマホ版 : <https://www.as.hosei.ac.jp/kyomu/indexSP.jsp>

4.2. 各科目の履修について

履修登録するうえで、特に注意が必要な科目を以下に纏めます。なお、本項目（4.2）に示している「事前手続き不要の自動登録科目」は、当該科目を初めて履修する方のみが対象です。一度履修した科目は「再履修」の扱いとなり、自動登録されません。再履修を希望する科目は、本紙の項番 5 を参照し、所定の手続きを行ってください。



履修登録を忘れてしまった場合、授業や試験に参加していたとしても成績はつきません。例年、本ケースは発生しますので特に注意が必要です。また、所定の手続きを行わずに履修登録を行った場合は、不合格もしくは未受験の評価がつかますのでご注意ください。

4.2.1. 春学期科目

4.2.1.1. [春学期科目] 事前手続き不要の自動登録科目（1 年生）

対象者	科目	備考
全員	情報リテラシー I・II	・2コマ連続授業。
	スポーツ総合演習	・春学期履修者のみ。
	国際文化情報学入門	・月曜 4 限、水曜 5 限の週 2 回の授業。
SA 英語圏	英語 1・2・5 / 諸語 1・2	
SA 諸語圏	諸語 1・2・5 / 英語 1・2	
SJ（留学生）	日本語 1 I・2 I / 英語 1・2	
SSI（選択した履修パターンに応じる）	パターン 1（英語 8 単位） 英語 1・2・5	<u>英語 1～8</u> 入門英語（SSI）で充当する場合は、Web 履修登録の際に自動登録されている英語を削除し、ご自身で入門英語を登録してください。 <u>ドイツ語 1～6（2017 年度以降入学生）</u> 入門ドイツ語（SSI）で充当する場合は、Web 履修登録の際に自動登録されているドイツ語を削除し、ご自身で入門ドイツ語を登録してください。
	パターン 2（諸語 8 単位） 諸語 1・2・5	
	パターン 3（英語/諸語各 4 単位） 英語 1・2 / 諸語 1・2	

4.2.1.2. [春学期科目] 事前手続き不要の自動登録科目（2 年生）

対象者	科目	備考
SA 英語圏 SSI（英 8）	英語 7・8	<u>SA 英語圏</u> Web 掲示板で指定クラスを発表。 <u>SSI 生</u> 入門英語（SSI）で充当する場合は、Web 履修登録の際に自動登録されている英語を削除し、ご自身で入門英語を登録してください。

対象者	科目	備考
SA 諸語圏 SSI（諸 8）	諸語 7・8	<u>SA 英語圏</u> Web 掲示板で指定クラスを発表。 <u>SSI 生</u> 入門英語（SSI）で充当する場合は、Web 履修登録の際に自動登録されている英語を削除し、ご自身で入門英語を登録してください。
SA 参加対象者	言語コミュニケーションⅡ・Ⅲ	・Web 掲示板で指定クラスを発表。
SJ（留学生） ※ 2022 年度 以前入学者	日本語 3Ⅰ・4Ⅰ／英語 5	・Web 掲示板で指定クラスを発表。
SJ（留学生） ※ 2023 年度 以降入学者	日本語 3Ⅰ・4Ⅰ	・Web 掲示板で指定クラスを発表。
SJ（留学生）	世界とつながる地域の歴史と文化	

4.2.1.3. [春学期科目] 事前手続きが必要な科目

科目	登録	備考
ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目 大人数授業	自動	・ 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。
サイエンス・ラボ A	Web	・ 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。
4 群選択科目	Web	・1 回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得ること。
スポーツ総合演習 S	Web	・ 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。
ネットワーク基礎	自動	・ ネットワーク基礎の抽選 を参照。
言語アプリケーション科目	Web	・1 回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得ること。
演習	Web	・演習選抜合格者のみ履修可。 ・派遣留学等により、演習を一時お休みされていた場合は、担当教員に履修する旨を連絡のうえ、履修登録をしてください。学部事務への申し出は不要です。

科目	登録	備考
卒業研究（9月卒業申請者のみ）	自動	・授業開始前までに学部事務（jkokusai@hosei.ac.jp）にお申し出ください。
諸外国語先取り履修 ・4群200番台科目 ・アプリケーション科目	自動	・ 諸外国語先取り履修 を参照してください。
単位認定希望者自由科目 ・短期語学研修（春季） ・国際ボランティア（春季） ・国際インターンシップ（春季）	自動	・単位認定を希望した方のみ自動登録。 ・左記プログラムで認定される単位は、履修上限単位数には含まれません。 ・SA代替措置として短期語学研修（春季）を履修する場合、認定先が異なります。
大学院設置科目	Web	・科目担当教員の受講許可が必要です。学習支援システム等を通じ、初回授業までに科目担当教員に連絡をしてください。受講許可を取得後、履修登録をしてください。
必修外国語以外の外国語（ILAC4群）	Web	・ILAC科目4群の卒業所要単位を修得済で、他の諸外国語4群選択科目を履修したい方は、 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） をご確認ください。
上記以外で事前手続きや初回授業で選抜等がある科目（ESOP科目等）	Web	・事前手続や選抜合格のみでは、履修登録されません。 ・ご自身での登録が必要です。

4.2.2. 秋学期科目

4.2.2.1. 〔秋学期科目〕事前手続き不要の自動登録科目（1年生）

対象者	科目	備考
1年生	スポーツ総合演習	・秋学期履修者のみ。
SA 英語圏	英語 3・4・6／諸語 3・4／言語コミュニケーション I	
SA 諸語圏	諸語 3・4・6／英語 3・4／言語コミュニケーション I	
SJ（留学生）	日本語 1Ⅱ・2Ⅱ／英語 3・4	
SSI（選択した履修パターンに応じる）	パターン 1（英語 8 単位） 英語 3・4・6	英語 1～8 入門英語（SSI）で充当する場合は、Web 履修登録の際に自動登録されている英語を削除し、ご自身で入門英語を登録してください。
	パターン 2（諸語 8 単位） 諸語 3・4・6	

対象者	科目	備考
	パターン 3（英語/諸語各 4 単位） 英語 3・4／諸語 3・4	<u>ドイツ語 1～6（2017 年度以降入学生）</u> 入門ドイツ語（SSI）で充当する場合は、Web 履修登録の際に自動登録されているドイツ語を削除し、ご自身で入門ドイツ語を登録してください。

4.2.2.2. 【秋学期科目】 事前手続き不要の自動登録科目（2 年生）

対象者	科目	備考
SA 参加者 ※ 2022 年度 以前入学者	スタディ・アブロード（基礎）Ⅰ・Ⅱ スタディ・アブロード（言語）Ⅰ・Ⅱ スタディ・アブロード（専攻）Ⅰ～Ⅴ	・ 補足 1（SA の単位について） をご参照ください。 ・SA 帰国後、修得が認められた科目のみ学部事務にて登録作業を行います。
SA 参加者 ※ 2023 年度 以降入学者	スタディ・アブロード（基礎） スタディ・アブロード（言語）Ⅰ・Ⅱ スタディ・アブロード（専攻）Ⅰ～Ⅴ	・ 補足 1（SA の単位について） をご参照ください。 ・SA 帰国後、修得が認められた科目のみ学部事務にて登録作業を行います。
SJ（留学生） ※ 2022 年度 以前入学者	日本語 3Ⅱ・4Ⅱ／英語 6 スタディ・ジャパン	・SJ 参加者のみ履修登録を行います。 ・ 補足 2（SJ について） をご参照ください。 ・詳細は学部事務からの案内を確認してください。
SJ（留学生） ※ 2023 年度 以降入学者	日本語 3Ⅱ・4Ⅱ スタディ・ジャパン	・SJ 参加者のみ履修登録を行います。 ・ 補足 2（SJ について） をご参照ください。 ・詳細は学部事務からの案内を確認してください。

補足 1 (SA の単位について)

詳細は、[国際文化学部履修の手引き](#) (SA について) をご確認ください。

【2022 年度以前入学者】

区分			科目名	単位数
ILAC科目	外国語科目(4群)	200番台	スタディ・アブロード(基礎)Ⅰ(※1)	1
			スタディ・アブロード(基礎)Ⅱ(※1)	1
専門教育 科目	メディアコミュニケーション科目	専攻科目	スタディ・アブロード(言語)Ⅰ	2
			スタディ・アブロード(言語)Ⅱ	2
	スタディ・アブロード(専攻)Ⅰ		2	
	スタディ・アブロード(専攻)Ⅱ		2	
	スタディ・アブロード(専攻)Ⅲ		2	
	スタディ・アブロード(専攻)Ⅳ		2	
	スタディ・アブロード(専攻)Ⅴ		2	
			16	

※1 必修(SJ生、SSI生を除く)

※2 SAプログラム以外の授業を履修した場合は、最大で上記に加えて6単位(SA(専攻) VI～VIII) 合計22単位まで認定されます。

【2023 年度以降入学者】

区分		科目名	単位数
専門教育科目	メディアコミュニケーション科目	スタディ・アブロード(基礎) (※1)	2
		スタディ・アブロード(言語) I	2
		スタディ・アブロード(言語) II	2
	専攻科目	スタディ・アブロード(専攻) I	2
		スタディ・アブロード(専攻) II	2
		スタディ・アブロード(専攻) III	2
		スタディ・アブロード(専攻) IV	2
		スタディ・アブロード(専攻) V	2
			16

※1 必修(SJ生、SSI生を除く)

※2 SAプログラム以外の授業を履修した場合は、最大で上記に加えて6単位(SA(上級) I～III) 合計22単位まで認定されます。

補足 2 (SJ について)

詳細は、[国際文化学部履修の手引き](#) (SJ について) をご確認ください。

専門教育科目	専攻科目	スタディ・ジャパン	2 単位
--------	------	-----------	------

4.2.2.3. [秋学期科目] 事前手続き不要の自動登録科目（3年生）

対象者	科目	備考
SA 参加者	スタディ・アブロード（言語）Ⅰ・Ⅱ スタディ・アブロード（専攻）Ⅰ～Ⅵ	・補足 1（SA の単位について） をご参照ください。 ・SA 帰国後、修得が認められた科目のみ学部事務にて登録作業を行います。
SJ（留学生） ※ 2022 年度 以前入学者	日本語 3Ⅱ・4Ⅱ／英語 6 スタディ・ジャパン	・SJ 参加者のみ履修登録を行います。 ・補足 2（SJ について） をご参照ください。 ・詳細は学部事務からの案内を確認してください。
SJ（留学生） ※ 2023 年度 以降入学者	日本語 3Ⅱ・4Ⅱ スタディ・ジャパン	・SJ 参加者のみ履修登録を行います。 ・補足 2（SJ について） をご参照ください。 ・詳細は学部事務からの案内を確認してください。

4.2.2.4. [秋学期科目] 事前手続きが必要な科目

科目	登録	備考
ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目 大人数授業・	自動	・ 市ヶ谷リバラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要があります。
サイエンス・ラボ B	Web	・ 市ヶ谷リバラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要があります。
4 群選択科目	Web	・1 回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得ること。
スポーツ総合演習 S	Web	・ 市ヶ谷リバラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要があります。
情報システム概論	自動	・秋学期授業開始前に抽選を実施（詳細は、 情報システム概論、メディア情報基礎の抽選（秋学期） 参照）
メディア情報基礎	自動	
言語アプリケーション科目	Web	・1 回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得ること。

科目	登録	備考
		と。
演習	Web	・演習選抜合格者のみ履修可。 ・派遣留学等により、演習を一時お休みされていた場合は、担当教員に履修する旨を連絡のうえ、履修登録をしてください。学部事務への申し出は不要です。
卒業研究	Web	・当該学期に演習が履修されていることが前提。 ・ <u>Web 履修登録画面（一番下）の「集中・その他欄」より、演習担当教員の卒業研究を選択してください。</u>
<u>諸外国語先取り履修</u> ・4 群 200 番台科目 ・アプリケーション科目	自動	・ 諸外国語先取り履修 を参照してください。
<u>単位認定希望者自由科目</u> ・短期語学研修（夏季） ・国際ボランティア（夏季） ・国際インターンシップ（夏季）	自動	・単位認定を希望した方のみ自動登録。 ・左記プログラムで認定される単位は、履修上限単位数には含まれません。 ・SA 代替措置として短期語学研修（夏季）を履修する場合、認定先が異なります。
大学院設置科目	Web	・科目担当教員の受講許可が必要です。学習支援システム等を通じ、初回授業までに科目担当教員に連絡をしてください。受講許可を取得後、履修登録をしてください。
必修外国語以外の外国語（ILAC4 群）	Web	・ILAC 科目 4 群の卒業所要単位を修得済で、他の諸外国語 4 群選択科目を履修したい方は、 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） をご確認ください。
上記以外で事前手続きや初回授業で選抜等がある科目（ESOP 科目等）	Web	・事前手続や選抜合格のみでは、履修登録されません。 ・ご自身での登録が必要です。

4.2.3. オータムセッション科目

4.2.3.1. 【オータムセッション科目】事前手続きが必要な科目

科目	登録	備考
海外フィールドスクール	自動	・受講方法およびその他詳細については、 実施要領 をご確認ください。

5. 履修登録における特殊ケース（抽選・再履修等）

5.1. 春学期科目

5.1.1. 「春学期科目」4 群（外国語）の再履修

5.1.1.1. 注意事項

- ・この措置は、外国語必修科目の未修得単位の修得の場合のみ申請することができます。
- ・初回履修者は、この手続きをすることはできません。
- ・再履修が多数ある場合、セメスター中でのすべての再履修科目の履修登録は不可能な場合があります。

5.1.1.2. 再履修パターン

不合格科目	選択できる再履修の方法	
	クラス授業	スコア認定
英語1～4	[春] 申請手続き1	[春] 申請手続き4
英語5～6	[春] 申請手続き2	
英語7・8		
諸語1～8	[春] 申請手続き3	—
日本語	[春] 申請手続き5	—

※ 2021 年度より、英語 7・8 のスコア認定は春学期申請になりました。

[春] 申請手続き 1（英語 1～4 をクラス授業で再履修するケース）

英語 1～4 は、習熟度別クラス編成のため指定されたクラスで受講してください。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

B. 英語 3、4 の読替について

- ・以下の 2 科目は、事前申請により読み替えが可能です。

不合格科目		再履修科目として読替可能な科目
英語 3（秋学期）	→	英語 1（春学期）
英語 4（秋学期）	→	英語 2（春学期）

- ・但し、1つの科目で読替が可能な科目は1つのみです。例えば、英語1と英語3の両方を未修得の場合、英語1か英語3のどちらか一方しか履修することはできません。

[春] 申請手続き2（英語5～8をクラス授業で再履修するケース）

英語5～8は、配当年次生のクラス人数により、希望の曜日・時限に受講できない場合もあります。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

B. 英語6の読替について

- ・以下の2科目は、事前申請により読み替えが可能です。

不合格科目		再履修科目として読替可能な科目
英語6（秋学期）	→	英語5（春学期）

- ・但し、1つの科目で読替が可能な科目は1つのみです。例えば、英語5と英語6の両方を未修得の場合、英語5か英語6のどちらか一方しか履修することはできません。

[春] 申請手続き3（諸語1～8をクラス授業で再履修するケース）

諸語1～8は、配当年次生のクラス人数により、希望の曜日・時限に受講できない場合もあります。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

B. 3、4、6の読替について

- ・以下の2科目は、事前申請により読み替えが可能です。

不合格科目		再履修科目として読替可能な科目
諸語3（秋学期）	→	諸語1（春学期）
諸語4（秋学期）	→	諸語2（春学期）
諸語6（秋学期）	→	諸語5（春学期）

- ・但し、1つの科目で読替が可能な科目は1つのみです。例えば、諸語1と諸語3の両方を未修得の場合、諸語1か諸語3のどちらか一方しか履修することはできません。

[春] 申請手続き4（外部英語能力試験のスコアによって未修得単位を修得するケース）

申請対象者は、2年次以上の学生です（1年次留級生の申請は不可）。**SA参加年度にスコア認定による英語1～6の再履修を行うことはできません。**※英語スコア認定は年間科目として履修登録する必要がありますが、秋学期にSAに参加する学生は、年間科目を履修登録することが認められないためです。Web履修登録のうえ、定められた期間内に指定の外部英語能力試験を受験し、一定スコアを取得した場合、その結果を提出することにより、英語必修科目の未修得単位が認定されます。スコア認定の単位認定は、通算4科目（4単位）までです。

A. スコア認定単位換算表

スコア	試験と点数			認定科目数（単位数）
	TOEFL iBT®	TOEIC® L&R	IELTS	
A	88 点以上	800 点以上	6.5 以上	4 科目（4 単位）まで
B	71 点以上	700 点以上	6.0 以上	3 科目（3 単位）まで
C	57 点以上	600 点以上	5.5 以上	2 科目（2 単位）まで
D	45 点以上	500 点以上	5.0 以上	1 科目（1 単位）まで

※ TOEFL iBT®, TOEIC® L&R, IELTS（アカデミック・モジュール）が認定対象となる試験です。

※ TOEFL iBT®は、Test Date スコアのみ（My Best スコアは不可）。

※ TOEFL ITP®, TOEIC-IP, TOEFL iBT R Special Home Edition によるスコア認定は不可。

※ 試験の実施日程や受験方法は、各自で調べてください。特に Web 試験は、事前に通信環境を確認の上、受験してください。

B. 申込方法

Web 履修登録（春学期）

※ Web 履修登録画面（一番下）の「集中・その他欄」より、再履修申請が必要なスコア認定科目を選択してください。

C. スコアの有効期間

2024 年 4 月 1 日以降に実施されたもので、「D.」の提出期間までにスコアの証明書が提出できるもの

D. スコアの提出方法と期限

期限：2025 年 1 月 20 日（月）

※ 提出方法は、ILAC Web 掲示板にてご案内します。

※ Web 履修登録をしても、上記指定期間内に申請用紙を提出しない場合、単位は認められません。申請用紙を提出しない場合の成績は、未受験の評価がつきます。

E. 注意事項

- ・評価は「RR」（認定）となります。
- ・認定される単位数はスコア認定単位換算表の通りで、未修得単位数を超えた認定はされません。
- ・教員免許取得のために英語の単位を修得する場合はこの方法は適用できません。教職免許取得に必要となる英語 1～4 の再履修は、クラス授業を履修してください。
- ・1 つの科目について、再履修方法は 1 つのみです。例えば、英語 2 を再履修する際に、クラス授業とスコア認定の併用はできません。
- ・2 科目以上再履修する場合は、1 つの科目について 1 つの方法であれば、複数の方法を併用することができます。例えば、英語 2 と英語 4 を再履修する場合に、英語 2 はクラス授業、英語 4 はスコア認定というように、2 科目を別々の履修方法で再履修することは可能です。
- ・履修登録後、年度途中でスコア認定を登録したり、登録を取消したりすることはできません。

- ・ 取得したスコアが、履修登録した科目数（単位数）のスコア基準よりも低い場合は、スコア認定単位換算表に表記されている科目数（単位数）だけ認定されます（認定する科目は大学が決定します）。例えば、2 科目分履修登録したが、1 科目分のスコアしか取得できなかった場合は、1 科目分のみ単位を認定します。認定されなかった分の科目は、不合格として成績通知書に表記されます。
- ・ 取得したスコアが高くても、履修登録していない科目を認定することはできません。例えば、2 科目分履修登録したが、3 科目分のスコアを取得できた場合は、2 科目分のみ単位を認定します。

[春] 申請手続き 5（日本語をクラス授業で再履修するケース）

日本語は、配当年次生のクラス人数により、希望の曜日・時限に受講できない場合もあります。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

5.1.2. [春学期科目] 情報リテ、スポーツ総合演習、国際文化情報学入門の再履修・言語コミュ履修希望

科目	登録	備考
情報リテラシー	自動	・再履修の場合は、 情報リテラシー I・II の再履修 を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。
スポーツ総合演習	Web	・再履修の場合は、 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。
国際文化情報学入門	Web	・定められた履修登録期間にご自身で履修登録を行ってください。事前手続きは不要です。
言語コミュニケーション II・III	自動	・履修希望の場合は、 言語コミュニケーション科目の再履修及び教員免許取得のための履修 （※）を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。 （※）英語圏 SA 以外の学生で、英語科教員免許取得のために「英語コミュニケーション II・III」の履修を希望する方、および SA 先が中国以外の学生で、中国語科教員免許取得のために「中国語コミュニケーション II・III」の履修を希望する方。

5.2. 秋学期科目

5.2.1. [秋学期科目] 4 群（外国語）の再履修

5.2.1.1. 注意事項

- ・この措置は、外国語必修科目の未修得単位の修得の場合のみ申請することができます。
- ・初回履修者は、この手続きをすることはできません。
- ・再履修が多数ある場合、セメスター中でのすべての再履修科目の履修登録は不可能な場合があります。

5.2.1.2. 再履修パターン

不合格科目	選択できる再履修の方法
	クラス授業
英語3・4	[秋] 申請手続き1
英語6	[秋] 申請手続き2
諸語3・4・6	[秋] 申請手続き3
日本語	[秋] 申請手続き4

※ 2021 年度より、秋学期に申請できるスコア認定はなくなりました。

[秋] 申請手続き 1（英語 3・4 をクラス授業で再履修するケース）

英語 3・4 は、習熟度別クラス編成のため指定されたクラスで受講してください。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

[秋] 申請手続き 2（英語 6 をクラス授業で再履修するケース）

英語 6 は、配当年次生のクラス人数により、希望の曜日・時限に受講できない場合もあります。

※ 留学生入試による入学生（17 年度以前入学者）で、4 群外国語科目による英語 6 の代替を希望する方は、授業開始前までに学部事務（jkokusai@hosei.ac.jp）にお申し出ください。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

[秋] 申請手続き 3（諸語 3・4・6 をクラス授業で再履修するケース）

諸語 3・4・6 は、配当年次生のクラス人数により、希望の曜日・時限に受講できない場合もあります。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

[秋] 申請手続き 4（日本語をクラス授業で再履修するケース）

日本語は、配当年次生のクラス人数により、希望の曜日・時限に受講できない場合もあります。

A. 申込方法

[ILAC4 群必修外国語（クラス授業）の再履修](#)

5.2.2. 「秋学期科目」スポーツ総合演習の再履修・言語コミュ履修希望

科目	登録	備考
スポーツ総合演習	Web	・再履修の場合は、 市ヶ谷リベラルアーツセンターからのお知らせ（時間割／履修登録関係） を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。
言語コミュニケーション I	自動	・履修希望の場合は、 言語コミュニケーション科目の再履修及び教員免許取得のための履修 （※）を確認の上、所定の手続きを行う必要あり。 （※）英語圏 SA 以外の学生で、英語科教員免許取得のために「英語コミュニケーション I」の履修を希望する方、および SA 先が中国以外の学生で、中国語科教員免許取得のために「中国語コミュニケーション I」の履修を希望する方。

5.3. 年間科目

5.3.1. [年間科目] 外国語技能試験・検定試験による単位認定

5.3.1.1. 2022 年度以前入学者の SA 一部中止・不参加に伴う代替措置

- ・ 2022 年度以前入学者で、SA 不参加の学生が申請することのできる制度です。
- ・ 国際文化学部 HP および学部事務からの案内を確認の上、Web 履修登録を行ってください。

本制度による単位認定を希望する場合、「スタディ・アブロード（専攻）Ⅶ・Ⅷ」の履修登録が必要です。基準のスコア・級位を取得していた場合も、履修登録が無い場合は、単位認定が認められません。事前の登録を忘れないようお願いを付けください。

6. 過去多かった問い合わせ

質問	回答
・ 1 つの曜日時限につき、複数の履修登録（本登録）が可能でしょうか？ ・ ゼミと同時限で行われる授業を履修（本登録）することはできますか？	1 つの曜日時限に、複数の履修登録（本登録）をすることはできません。 補足： 学習支援システムへの仮登録については、履修登録（本登録）する可能性のある科目を全て登録いただきたいので、今まで通り複数登録いただけますが、情報システムへの履修登録（本登録）は、1 つの曜日時限につき 1 件までです。
キャンパスが違う授業を 2 時限連続で履修（本登録）できますか。	キャンパスが違う授業の 2 時限連続履修（本登録）はできません。オンライン授業であっても、曜日時限が設定されている授業については、異なるキャンパスの連続した時限の履修は不可です。 ただし、2024 年度より、 <u>土曜日に開講する授業のうち、すべての授業回をオンラインで実施する授業</u> については、前後の時限にて、他キャンパス開講の授業を履修することが可能となりました。
過去に ILAC 科目の「教養ゼミⅠ」を修得しましたが、サブタイトルの違う「教養ゼミⅠ」の履修は可能でしょうか？	原則として、単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。サブタイトルが異なってもメインタイトルが同一の場合は、履修することができません。

質問	回答
学習支援システムに登録したので、履修登録は終わったと思っていました。	学習支援システムでは履修登録（本登録）はできません。履修登録期間中に情報システムからの登録手続きが必要です。
4 年生の演習を履修登録することで、「卒業研究」も自動登録されると思っていた。	「卒業研究」は、ご自身で履修登録が必要です。「演習」の履修登録をしたことにより、自動的に「卒業研究」の履修登録はされませんのでご注意ください。なお、「卒業研究」の履修にあたっては、「卒業研究」の履修と同一のセメスターにおいて、「卒業研究」の指導教員が担当する「演習」を履修していることが前提となります。 ※「卒業研究」の詳細については、履修の手引き第 5 編も併せてご参照ください。
2021 年度以前に履修したオンライン授業は、オンライン授業の履修上限単位数に含まれますか？	2021 年度以前に履修したオンライン授業は、オンライン授業の履修上限単位数には含まれません。2022 年度以降に履修したオンライン授業が集計の対象となります。
履修の手引きの（2019 年度以降入学生）卒業要件単位のうち、情報関連科目を「3 科目 6 単位以上」修得するという条件は、情報科目、メディアコミュニケーション科目のそれぞれから「3 科目 6 単位以上」修得しなければならないのか？	各入学年度の卒業要件単位ページに示されている情報関連科目の中から、「3 科目 6 単位以上」を修得すれば問題ありません。（情報科目、メディアコミュニケーション科目のいずれか片方の区分のみからであっても、可です） ※入学年度によって、対象となる情報関連科目が異なるため、注意してください。
情報システム上の履修登録画面に科目が表示されない。	以下を確認してください。 ・時間割の学期・曜日・時限 ・クラス指定授業の場合、指定された内容であるか ・シラバスの右側に記載されている配当学年、履修条件、対象学部などに該当しているか ・時間割の下にある「年間・集中」に表示されていないか（オンデマンド授業、スコア認定、卒業研究など） ・修得済みの科目ではないか（旧科目名に注意）（いくつか例外的に重複履修できる科目はあるが、ほとんどの科目は一度修得すると再履修できない）

質問	回答
	・抽選科目ではないか(情報システム概論・メディア情報基礎、ネットワーク基礎、ILAC の大人数抽選授業など)

7. 最後に

- ・冒頭の繰り返しとなりますが、大学では、履修登録が、単位修得の前提です。履修登録に不備があると、受講していた科目の単位修得はできません。
- ・**履修登録完了後、必ず「履修登録科目確認通知書」を出力して、内容をよく確認し、保管してください。履修登録科目確認通知書は、皆さんが履修登録を行った証跡です。**
- ・進級・卒業に影響を及ぼす可能性があるため、履修登録内容を最後にチェックのうえ、問題がなければ完了です。
- ・問題がある場合は、履修登録期間中に確認してください。期限厳守です。
- ・なお、履修登録期間内に登録を行わず、申し出もない場合は、修学の意味がないものとして、退学処分となる場合がありますのでご注意ください。

以上